



茶花小学校 6年生

授業：海洋教育

令和2年度与論町海洋教育

12号

昨年度から与論町教育委員会では日本財団・東京大学海洋教育センター・笹川平和財団海洋政策研究所からの支援を受け海洋教育パイオニアスクールを導入しました。町内の小・中・高等学校が連携して行う「地域連携型」というスタイルで海を通じた学びの活動を行っています。与論町教育委員会を含め全国10の地域が「地域連携型」で海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加しています。

1月22日に実施された「海洋教育子どもサミット2021 in おおむた」。沖縄県や鹿児島県の海洋教育推進校が参加し、与論町からは茶花小学校6年生が参加、1チームが海洋教育の授業で進めてきた探究の内容をプレゼンテーションしました。



「映像制作チーム」が発表したアイデアは「どこでも いつでも だれでも 楽しめる映像 PR 作戦」。コロナ禍、どこにいても手軽に与論の魅力が伝わるようにしたいという思いで設定されたアイデアです。

アイデアを実現することによる効果、活動の流れ、注意した点についての発表を聞くとともに、実際に制作した動画も見ることができました。また、活動が思い通り進まなかったことをどうやって乗り越えてきたかも発表を通して知ることができました。

緊張しながらも、堂々とした発表ができていただけでなく、他の参加校の発表に対して質問をしたり、感じたことを伝えたりするなど、オンラインでの活発な交流も印象的なサミットでした。

